

学校 教育 目標	豊かな心と自ら学び続ける力を持ち、すこやかに生きる子の育成 ~のびていこう「わかる つながる 高め合う」はやぶちっ子~				
	○ 自らの課題を解決するために主体的に取り組む子を育てます(知) ○ 自他の存在を尊重し、ともによりよく生きようとする子を育てます(徳) ○ 自他の生命を大切にし、健やかな心と体をつくる子を育てます(体) ○ まちに学び、まちとのふれあいを大切にすることを育てます(公) ○ 人や自然、文化に進んで関わり、広い視野で考える子を育てます(開)				
学校 概要	創立 43 周年	学校長 土屋 俊朗	副校長 金子 京子	2 学期制	一般学級: 15 個別支援学級: 2
児童生徒数: 469 人	主な関係校: 新田中学校 早淵中学校				

教育課程全体で 育成を目指す資質・能力	中 ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
<持続可能な社会の創造に貢献する力> <言語能力> <自分づくりに関する力>	新田中学校 新田小学校 新吉田小学校 綱島小学校	「人との関わり」や「自他の思いや願い」を大切にできる子 小中学校間の連携を深めることにより、義務教育9年間の学習指導と生活指導の円滑な接続ができるようにする。

中期 取組 目標	○子どもが主役の、みんながともに学び、伸びていく学校づくりを進めます。 ・子ども一人ひとりが自分のよさを発揮できる学習を展開し、授業を通して学力の向上とともに何でも言い合える人間関係を築きます。 ・縦割り活動や音楽の交流等、異学年交流に力を入れ、自己有用感や互いに思いやる心を育みます。 ・地域の教育力を活用するとともに、まちを愛する気持ちを育てます。 ・職員個々が自分の持ち味や力量を生かして学校づくりをしていくとともに、互いに高め合う職員集団づくりを進めます。
----------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①朝読書での読み聞かせや自読を通して本に親しむ。②児童の実態に合わせてスキルタイムや家庭学習の内容を考え、基礎学力の定着を図る。③重点研で取り組む国語を核として、目的意識や相手意識をもって学び、互いに伝え合うことを通して、認識と思考並びに表現力を高める。
豊かな心	①縦割り活動やペア学年の活動に加え、音楽を通じた交流による異学年交流を通じて相互理解を深め、自尊感情が高まるようにする。②道徳や教科等あらゆる機会をとらえて、自他を大切にできる心情と態度を育てる。福祉学習では、必要感の高い体験教室を精選して行い、よりよい活動にする。
健やかな体	①「持久走記録会」や「長縄集会」を機会として、個人やクラスで目標をもって運動を楽しむ環境づくりに努める。②年に2回の学校保健委員会や保健学習を通して、子どもたちが生活習慣に関心をもち、毎日健康に過ごせるようにする。
特別支援教育	①校内研修やコンサルテーションなどを通して、個に応じた指導を丁寧に行う。②保健室登校の児童への支援は、担任をはじめ学年の担任、専任が連携して対応する。③長期にわたる欠席等の事案については、学校カウンセラー等関係諸機関と連携して、支援の手立てを講じる。
未来を拓く志	①前年度までにつながることができた地域の方々との関係を持続し、引き続き体験的な活動を多く取り入れて授業を活性化していく。②地域の特色や学習材を生かしたカリキュラムの実施を通して、未来を拓く志につながるようにカリキュラムの改善に努める。
地域連携	①学校行事や授業参観などを計画的に設定し、保護者や地域の方々や連携、協働して子どもたちを育てていく機会と場を設ける。②地域コーディネーターをはじめ、保護者や地域の方々や連絡を密にとり、積極的に地域の教育力を学習活動に活かす。
児童指導・支援	①「子ども社会スキル横浜プログラム」の理解と活用を図り、あらゆる機会を通じて、子どもたちの実態把握に努める。②授業を通して、お互いを認め合える人間関係を築いていけるように配慮する。③職員会議で定期的に情報交換し、共通理解のもと組織的に指導と支援に当たる。
0	0
いじめへの対応	①YPアセスメントや生活アンケート等を活用し、児童に寄り添いながらいじめの未然防止と早期発見に努める。②毎月「いじめ防止委員会」を開催し、常に情報を共有し、組織的対応によって早急に課題解決を図る。
人材育成・ 組織運営 (働き方改革)	①メンターチームの運営方法を改善し、指導力の向上を図る。②互いの授業を見合う機会を増やし、ともに高め合う職員集団づくりを進める。③ICT機器を効果的に活用し、効率的に校務を遂行する。④清潔で整頓された環境のもと、効率よく校務に取り組めるようにする。⑤みんなで協働し「風通しのよい」学校づくりを推進する。

